

■2020 年度高校部■

高校部本科 入塾案内



小学部・中学部・高校部

トライメイト進学舎

私たちが考えること……

私たちが大切に思うものがあります。それは、ここに集まり巣立っていった生徒たちです。

学校の勉強をし、部活をし、くたくたになりながらもさらに勉強しようという生徒たち。彼らが授業になると、背筋を伸ばすのです。計算高くも、要領も決して良くないごく普通の生徒たち。彼らが、入試という大きな試験に対して立派に立ち向かっていくのです。

受験に際して、一人一人の生徒が行っていることは、基本的には誰もがみな同じなのです。人生の岐路に立ち、真剣に自分と向き合い、努力を積み上げ、その中で伸びないと悩み、もがき、予想もしなかった自分を発見し、より大きくなっていく。そして、それとともに自分の身の丈をも知り大人になっていくのです。胸を張って。

そんな受験生たちにいつも接する私たちは、「どこの大学に合格したかに価値があるのではなく、そこに至るプロセスの中でどんな成長を遂げたかに価値がある。」と考えています。また、同時に彼らの良き理解者でありたいと思っています。

「トライメイトに何があるのか？」

それはここを卒業していった生徒たちが書き残していった言葉の中に見つけて下さい。

このトライメイトという塾には「信頼」がある。学校以外のところへわざわざ来て、勉強を続けたのはこの理由からだ。

塾生なら、もうきっとわかっていることだが、ここの空間には勉強しなくちゃいけないと思わせる何かがある。それは先生の言葉であったり、友達存在であったりする。自習室へ入ると一層感じる。いつも誰かが勉強している。自分もやろうと自然に思えてくる。授業が終わるたびに「疲れた」という“いい意味”での脱力感、充実感がある。そしてまた頑張ろうと思える。塾生と先生方とは何でも話せる関係を築いている。それは表面上の進路相談ではなかった。一人一人を大切に考えてくれる。心から信じて頼ってきた塾生たちはここをとても気に入っている。休暇になると先生方に会いに来る先輩が多い。それはやはり、ここが来たいと思わせるような魅力のある場所だからだ。こんな塾はちょっとない。

勉強は自分がやらなければ決して伸びるものではない。しかし、適切に必要なことを教えてくれる先生がいて、励ましあえる友達がいれば、それはきっと心強い支えになる。周囲の雰囲気はとても大切なことだ。それは自分を高めるためにも……。

(M. H.)

合格者数の推移

合格実績

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
京都大		1	1							1
大阪大		2	1							
名古屋大	1	5	1	2	1	1	1	1	1	
神戸大	1	1	1	1	1			1		
筑波大					1					
広島大	1	1	3	1	1	1	2		1	1
金沢大	4	3	3	8	2	1	4	5	2	1
静岡大	2	1	2	4	2	3	1		1	1
岐阜大			1	1	1	1	1	1		1
滋賀大	3	8	10	3	2	3	3	6	4	3
滋賀県立大	1	4	2	9	4	1	5	4	6	2
その他国公立大	16	19	16	24	14	17	14	17	4	5
国公立大合計	29	45	42	53	29	28	31	35	19	15
早稲田大	2	2	1	1				1		
慶應義塾大				1						
同志社大	11	20	11	6	3	2	2	5	5	3
立命館大	28	50	40	40	24	25	26	32	23	17
関西学院大	13	6	13	3	2		1	2	2	1
関西大	15	6	15	3	12	4	3	3	1	
中央大		1					1			
明治大		1			2		1			
南山大						1				
龍谷大	20	25	66	26	37	13	37	21	16	25
京都産業大	4	16	15	3	8	6	6	7		4
近畿大	4	3	17	9	2	4	4	9	3	3
京都女子大	7	5	8	4	12	1	6		1	
長浜バイオ大	1		2		2	3	2	9		2

2020年度 大学入試合格実績

国公立大学 15名

京都大学(工)	金沢大学(人間社会)
広島大学(教育)	信州大学(工)
富山大学(経済)	富山大学(理)
静岡大学(工)	岐阜大学(工)
滋賀大学(教育2名)	滋賀大学(データサイエンス)
和歌山大学(システム工)	滋賀県立大学(人間看護2名)
沖縄県立芸術大学(美術工芸)	

私立大学

同志社大(3名)	立命館大(17名)
関西学院大(1名)	

近畿大(3名)	龍谷大(25名)	京都産業大(4名)	東京家政大
金沢工業大	中京大	岐阜聖徳学園大	大谷大(7名)
京都看護大(3名)	京都光華女子大(3名)	京都橘大(4名)	佛教大(8名)
大阪医科大	摂南大(2名)	藍野大	人間環境大
関西医科大	甲南女子大	長浜バイオ大(2名)	

その他、短期大学・専門学校等に多数合格しています。

2019年度 大学入試合格実績

国公立大学 19名

名古屋大学(経済)	静岡大学(農学)
金沢大学(人間社会)	金沢大学(理工)
広島大学(工学)	岡山大学(工学)
滋賀大学(経済3名)	滋賀大学(データサイエンス)
敦賀市立看護大学(看護2名)	滋賀県立大学(人間文化)
滋賀県立大学(環境科学2名)	滋賀県立大学(工学3名)
秋田公立美術大学(美術)	

私立大学

同志社大(5名)	立命館大(23名)
関西学院大(2名)	関西大

龍谷大(16名)	近畿大(3名)	京都女子大	中部大(3名)
同志社女子大	佛教大(3名)	藤田医科大	京都看護大(2名)
京都光華女子大	京都橘大(12名)	京都文教大(3名)	大谷大(3名)
大阪薬科大	摂南大	大阪経済大	大阪工業大
神戸学院大(2名)	聖泉大	福井工業大(5名)	名城大(2名)
名古屋外国語大(2名)	岐阜聖徳学園大(4名)		

その他、短期大学・専門学校等に多数合格しています。

2018年度 大学入試合格実績

国公立大学 35名

神戸大学(経営) 名古屋大学(農学)
鳥取大学(農・共同獣医) 静岡県立大学(薬)
横浜国立大学(教育) 金沢大学(人間社会)
金沢大学(理工4名) 京都工芸繊維大学(工芸科学)

富山県立大学(工) 福井大学(工) 信州大学(繊維)
岐阜大学(地域科学) 三重大学(工) 島根大学(総合理工)
滋賀医科大学(看護) 滋賀大学(経済4名) 滋賀大学(教育2名)
神奈川県立保健福祉大学(保健福祉) 都留文科大学(教養) 滋賀県立大学(人間文化)
滋賀県立大学(工) 滋賀県立大学(環境科学) 滋賀県立大学(人間看護)
京都教育大学(教育) 大阪教育大学(教育) 徳島大学(理工)
高知大学(理工) 高知工科大学(経済)

私立大学

早稲田大 同志社大(5名)
立命館大(32名) 関西学院大(2名)
関西大(3名)

龍谷大(21名) 京都産業大(7名) 近畿大(9名) 同志社女子大(5名)
千葉工業大 実践女子大 芝浦工業大 昭和女子大
東京農業大 日本大 金沢工業大 名城大
岐阜医療科学大(3名) 岐阜経済大 岐阜聖徳学園大(8名) 聖泉大(5名)
長浜バイオ大(9名) 京都学園大 京都光華女子大(2名) 京都造形芸術大
京都橘大(10名) 佛教大(6名) 藍野大 大和大(3名)
宝塚医療大 福山大

その他、短期大学・専門学校等に多数合格しています。

2017年度 大学入試合格実績

国公立大学 31名

広島大(医・医) 名古屋大(理) 広島大(工)
金沢大(人間社会) 金沢大(理工2名) 金沢大(医療保健)
大阪府立大(工) 京都工芸繊維大(工芸科学)

新潟大(工) 福井大(工3名) 愛知教育大(教育2名)
岐阜大(工) 滋賀大(データサイエンス) 滋賀大(教育2名)
三重大(工) 鳥取大(工) 山口大(理)
山口大(工) 福井県立大(看護) 滋賀県立(環境科学)
滋賀県立大(人間文化3名) 滋賀県立大(工) 福知山公立大(地域経営)

<平成 28 年卒の浪人生も健闘しました>

京都大(工) 名古屋大(工) 神戸大(工)

私立大学

明治大
同志社大(2名)
関西学院大
中央大
立命館大(27名)
関西大(3名)

同志社女子大(2名)	京都女子大(6名)	龍谷大(37名)	京都外国語大
京都産業大(6名)	近畿大(4名)	佛教大(4名)	京都橘大(9名)
京都光華女子大(4名)	大阪電気通信大(3名)	大阪経済大	大阪産業大(2名)
大阪工業大	武庫川女子大	相山女学園大	聖泉大(2名)
長浜バイオ大(2名)	金沢工業大(10名)	至学館大	名古屋学院大
藤田保健衛生大(8名)	鈴鹿医療科学大	中部大(2名)	岐阜聖徳学園大(7名)
岐阜医療科学大(4名)	北里大	武蔵野美術大	東京工科大(2名)
中京大	文教大	諏訪東京理科大学	

その他、短期大学・専門学校等に多数合格しています。

2016年度 大学入試合格実績

国公立大学 28名

名古屋大(工)
鳥取大(獣医)

広島大(工)
大阪府立大(地域保健)

金沢大(理工)

千葉大(教育)
岐阜大(工)
静岡大(人文)
和歌山大(システム工)
敦賀市立看護大(看護)
滋賀県立大(工)

茨城大(教育)
静岡大(工)
滋賀大(経済3名)
岡山大(文)
名古屋工大(工3名)
兵庫教育大(教育)

福井大(工2名)
静岡大(教育)
滋賀大(教育)
山口大(工)
愛知県立大(外国語)
兵庫県立大(理)

私立大学

同志社大(2名)
関西大(4名)

立命館大(25名)

京都女子大	龍谷大(13名)	同志社女子大	京都産業大(6名)
近畿大(4名)	佛教大(2名)	京都ノートルダム女子大	京都文教大
京都橘大(16名)	京都光華女子大(8名)	大和大(5名)	大谷大
京都看護大(2名)	京都学園大	摂南大	関西外語大
大阪工大(2名)	大阪医科大	藍野大(3名)	神戸学院大(2名)
天理大	びわこ学院大(5名)	長浜バイオ大(3名)	金沢工大(3名)
南山大	愛知大学(2名)	東海学園大	名城大
中京大	岐阜聖徳学園大(12名)	東京慈恵会医科大	日本大学(2名)
日本工業大	千葉工大(6名)		

その他、短期大学・専門学校等に多数合格しています。

2015年度 大学入試合格実績

国公立大学 29名

名古屋大(工)	神戸大(工)	金沢大(理工 2名)
筑波大(理工)	広島大(工)	東京医科歯科大(歯)
茨城大(工)	東京海洋大(海洋工)	千葉大(教育)
静岡大(人文社会科学)	静岡大(工)	岐阜大(教育)
岐阜大(工)	信州大(人文)	信州大(農学)
滋賀大(経済 2名)	滋賀大(教育)	首都大東京(都市教養)
首都大東京(健康福祉)	京都府立大(公共政策)	大阪市立大(生活科学)
福井県立大(経済)	滋賀県立大(環境科学)	滋賀県立大(人間文化 2名)
滋賀県立大(人間看護)	下関市立大(経済)	

私立大学

東京理科大(1名)	津田塾大(1名)
同志社大(3名)	立命館大(24名)
関西学院大(2名)	関西大(12名)

明治大(2名)	法政大(2名)	東洋大(2名)	京都薬科大
東京歯科大	京都産業大(8名)	近畿大(2名)	龍谷大(37名)
同志社女子大	京都女子大(12名)	岐阜聖徳学園大(6名)	佛教大(4名)
京都ノートルダム女子大(2名)		平安女学院大	京都華頂大
京都光華女子大(4名)	京都医療科学大	京都文教大	大谷大(2名)
京都橘大(17名)	帝塚山大(2名)	びわこ学院大	長浜バイオ大
金沢工業大(2名)	福井工業大	名古屋経済大	名城大(3名)
愛知学院大(3名)	愛知学泉大	藤田保健衛生大	中京大(3名)
中部大	岐阜医療科学大	日本赤十字広島看護大	

その他、短期大学・専門学校等に多数合格しています。

2014年度 大学入試合格実績

国公立大学 53名

東北大(経済)	名古屋大(工)	名古屋大(医・保健)
九州大(工)	神戸大(医・保健)	広島大(理)
金沢大(理工4名)	金沢大(人間社会4名)	
福井大(工)	大阪府立大(工2名)	名古屋工業大(工6名)
茨城大(工)	信州大(繊維)	上越教育大(学校教育)
富山大(人間発達)	静岡大(工2名)	静岡大(教育2名)
岐阜大(経済)	滋賀大(経済2名)	滋賀大(教育)
滋賀医科大(看護3名)	和歌山大(経済)	和歌山大(教育)
鳥取大(工)	島根大(生命資源科学)	徳島大(工)
滋賀県立大(環境科学4名)	滋賀県立大(人間看護2名)	
滋賀県立大(工3名)	敦賀市立看護大学(看護)	

私立大学

早稲田大(1名)	慶應義塾大(1名)
同志社大(6名)	立命館大(40名)
関西学院大(3名)	関西大(3名)

京都産業大(3名)	近畿大(9名)	龍谷大(26名)	同志社女子大
京都女子大(4名)	京都外大	岐阜聖徳学園大(8名)	佛教大(10名)
京都橘大(15名)	関西外大(3名)	名城大(3名)	金沢工業大
藤田保健衛生大	中京大(7名)	大阪工業大(2名)	大阪医科大
名古屋学院大	名古屋女子大(2名)	甲南女子大(12名)	神戸女学院大
関西福祉大	大阪産業大	大阪経済大	摂南大(2名)
金城学院大	京都光華女子大	京都ノートルダム女子大(2名)	
名古屋外国語大	愛知学院大(7名)	中部大(2名)	平安女学院大
福井工業大	大谷大(6名)	花園大(2名)	藍野大(2名)

その他、短期大学・専門学校等に多数合格しています。

高校1年生の諸君へ

トライメイトで高校生活の 最高のスタートを切りませんか

高校では、中学と比べて、難しい内容を非常に多く学習することになります。

さらに、部活動もより忙しくなり、勉強時間の確保が難しくなります。

普通に独学で学習するのでは、ほとんどの人は満足いく結果を残せません。

トライメイトは、そんなみなさんを、最も効率よく目標までサポートします。

講義では、板書を用いて、必要な知識を覚えやすい形で提示します。

良問をそろえたオリジナルテキストを用いて、徹底的に演習していきます。

授業を受けた後、必ずやできるようになっていることを実感することでしょう。

だからトライメイトは、毎年多くの虎姫高校・長浜北高校の生徒に支持されています。

分かりやすいだけの授業はもういない

頭に残る身に付く授業を

トライメイトの3つの特徴

- その1 英語・数学は対面の完全ライブ授業なので、生徒の理解度に合わせて、内容・ペースをコントロールし、一人一人の生徒に目の行き届いた講義をします。
- その2 英語・数学の定期テスト対策は完全無料です。学校の教科書・問題集を研究し尽くしたオリジナル教材を用いて、徹底的に行います。
- その3 河合塾テキストの使用が認定されている全国でも希少な塾です。講習会では使用し、着実に実力を付けていきます。

設置コース

学校別・学力別に3クラスを用意

FHクラス 月・水（英語・数学）

【虎姫高校ハイレベルクラス】

FSクラス 月・水（英語・数学）

【虎姫高校スタンダードクラス】

FGクラス 火（数学）・金（英語）

【長浜北高校クラス】

時間割

FGクラス

	火	金
20:30 ~ 22:00	FG 数学	FG 英語

FH・FSクラス

	月		水	
19:10 ~ 20:30	FS 数学	FH 英語	FS 数学	FH 英語
20:40 ~ 22:00	FS 英語	FH 数学	FS 英語	FH 数学

講座内容紹介

FH・FS 英語

担当 山村

1年生は、2・3年生になって大きく伸びるための土台となる文法を自分のものとするべき時期です。文法項目別に編集されたテキストで、無理なく本質を理解できるよう導きます。今まで苦手だった諸君でも、英語に自信が持てるようになるために、この1年生の授業は必須です。また、最も高いレベルを目指す諸君にとっては、この1年生での学習はゆるぎない英語力の最高に信頼できる土台を提供するものとなります。

FH・FS 数学

担当 山田

高校数学は、中学数学と比べて計算がより複雑なものとなり抽象性が増します。だからといって解法の丸暗記や表面的な知識の習得をしては、たとえ定期テストレベルの問題は解けるようになっても、受験で要求されるレベルの問題になると太刀打ちできません。そのため、高校1、2年生のうちには本質的な理解をきちんと積み重ねていくことが大切だと考え、良質なテキスト、プリントを使用してきめ細かな講義を展開していきます。

FG 英語

担当 漣

高校になると、中学とは比べものにならないくらい多くの内容を学習することになります。そこで、長浜北高の授業カリキュラム・授業内容に合わせたテキスト・プリントを使用して授業を進めていきます。学校の授業より少し早めのペースで、一步一步確実に重要項目を確認していき、さらに補充プリントなども使用して、様々な形式の問題に対応できるように指導します。また、定期試験の前には、長浜北高の教科書・問題集に沿った試験対策プリントを使用して、その対策も十分に行います。

FG 数学

担当 高桐

高1で学習する数学は、高校数学の中でも基本となることです。しかし、基本といっても、中学数学よりも内容は高度になり、分量も多くなるため、なんとなく学習しては数学がわからなくなってしまうことになりかねません。そのためこのクラスでは、学校の進度に合わせ確実に基礎固めができるよう指導します。

高校2年生の諸君へ

入試の80%は高校2年までの範囲から！

大学受験の「土台」を確固たるものに。
受験への基盤を高校2年生で完成させよう。

高校2年は学習する内容がもっとも大切なとき。

大学受験に必要な重要分野の80%が高校2年までに習い終えるところなのです。
つまり、高校2年までの学習範囲をしっかり理解しておけば、入試の80%は攻略できるのです。

高校2年生の1年間は、
しっかりした土台の上に受験のための基礎力を充実させなければいけません。

トライメイトの3つの特徴

- その1 英語・数学は対面の完全ライブ授業なので、生徒の理解度に合わせて、内容・ペースをコントロールし、一人一人の生徒に目の行き届いた講義をします。
- その2 英語・数学の定期テスト対策は完全無料です。学校の教科書・問題集を研究し尽くしたオリジナル教材を用いて、徹底的に行います。
- その3 河合塾テキストの使用が認定されている全国でも希少な塾です。講習会では使用し、着実に実力を付けていきます。

設置コース

学校別・学力別に3クラスを用意

- SHクラス 月・木（英語・数学） 【 虎姫高校対応 】
- SSクラス 月・木（英語・数学） 【 虎姫高校対応 】
- SGクラス 火（英語）・木（理系数学）・金（文系数学） 【 長浜北高校対応 】

時間割

	月		火	木			金
19:10 ~ 20:30	SH 英語	SS 数学		SH 英語	SS 数学		
20:40 ~ 22:00	SH 数学	SS 英語	SG 英語	SH 数学	SS 英語	SG 理系 数学	SG 文系 数学

※ SG クラスは 20:30~22:00

講座内容紹介

S H・S S 英語 担当 前田

「英語の実力は、読んだ英文の量に比例する。」2年生の授業は、1年生の文法中心から読解中心へと移行し、いよいよ本格的に入試に向けての準備を始めます。英文の中での文法知識の生かし方、文構造の見抜き方、さらには単語・熟語についての知識など学ぶべきことが本格的に読解を意識したものとなります。基本を大切に、復習をおりませながら、2年生のうちに「英語を入試での武器となる教科にする！」これが2年生の目標です。

1年生から入塾の諸君は明らかに力がついてきたことが実感できる学年です。

「文法が苦手なのですがなんとかなりますか」という質問をよく受けます。

1年生の間、学校だけで勉強してきた高校生にはやむを得ないことのように思われます。1年間でしかも1週間に2回という授業ペースで文法の主要な範囲を終わらせようとする、どうしても早いペースで表面的な説明で終わってしまいがちです。だから少し極端ですが「十分にわからなくて当然」と言えるのです。確かに1年次から在塾の生徒たちと差があるかもしれませんが、高2で使用する教材はもう一度文法の総復習を行い文法の体系を作ることを目指しています。授業での説明もSクラスのほうは文法の説明を十分に行い英語に自信をつけてもらいたいと願った授業を行います。実は、英語に一貫して流れている論理性さえ理解してしまえば文法など恐れるに足りずなのです。「なるほど」とうなずける英語の世界へ案内しようと考えています。

S H・S S 数学 担当 三田村

2年生ともなると、内容も抽象的になり、通り一遍の勉強だけでは、太刀打ちできません。抽象的で高度な内容を、ゆっくり、かみ砕いて、講義演習することにより、根本からの本物の理解を目指します。また、1年生での既習事項との関連性も抑えながら確実な知識の定着を目指します。

数学の点数が合否を左右する理系生にとっては、数学ⅡBの習得をしつつも既習分野の復習を着実にこなしていくことが大切です。そこで、一、二学期は学校の進度に合わせて数学ⅡBの土台を固めていき、三学期から河合テキストを用いて数学ⅠAⅡBの総復習を行い実戦力を鍛えていきます。また、引き続き2年生でも定期考査対策を行い、テストで十分実力を発揮できるようにバックアップを行い、入試で数学を得点源にすることを目標にはっきりと成果を体感できる1年間とします。

文系の生徒は、学校の進度に合わせることで、数学ⅡBの基礎を十分に習得し、応用力をつけることに主眼を置いています。どんどん先取りして学習するのも一つの方法ですが、来年の受験をにらんで、しっかり足元を固めることが大事であると考えています。河合塾で使用される問題を中心に解くことで、受験数学に必要なものを掴み、どのような準備をいけばよいかを知って欲しいと考えています。また、引き続き2年生でも定期考査対策を行い、テストで十分実力を発揮できるようにバックアップをします。

S G 英語 担当 漣

高校で学習すべき文法事項は、高1の段階でほぼ修得したことになります。2年生からは、入試に向けて様々な形式の文法問題とともに、長文読解問題も取り入れていきます。英文を読んでいく中で、今までに既習した文法の知識を活用し、文構造や節構造などを確認しながら、長文に慣れるようにしていきます。テキストは実際の入試問題のものを使用しますが、基本事項や重要ポイントなどがわかりやすくまとめられており、文法問題、長文読解問題ともに高2生でも十分に対応できるように構成されています。また、定期試験の前には、長浜北高の教科書・問題集に沿った試験対策プリントを使用し、その対策も十分に行います。

S G 数学 担当 高桐

高2の数学は1年生のとき以上に高度で抽象的になるため、内容をしっかり理解することが重要となります。そのため学校の進度に合わせて進めることが最も効果的で、実力をつける近道といえます。基本事項をしっかり押さえつつ、大学入試を意識したアプローチも行い、実力の養成を図ります。定期試験前にはその対策も行い、万全の準備で試験に臨めるようサポートし、より細やかな対応をしていきます。

高校3年生の諸君へ

さあ仕上げのとき。志望校合格を目指せ！

大学受験の「土台」の上に築く「実戦力」。
入試突破のための実戦力を高校3年生で身につけよう。

志望大学を目指して仕上げのときがきました。「学力」を「実戦力」へ高める1年間です。
トライメイト進学舎では「実戦力」へ高めるための講座を各種用意しています。

高校3年生の1年間で、

基礎力を実戦力に高め、志望校合格を勝ち取らねばいけません。

設置講座

- ◆ TT 英語 (2単位)
- ◆ TT 理系数学 (2単位)
- ◆ TH 英語 (2単位)
- ◆ TH 数学ⅠA (1単位)
- ◆ TS 英語 (2単位)
- ◆ TH 数学ⅡB (1単位)
- ◆ TG 英語 (2単位)
- ◆ TH 数学Ⅲ (1単位)
- ◆ TH 国語 (1単位)
- ◆ TS 数学ⅠA (1単位)
- ◆ TS 国語 (1単位)
- ◆ TS 数学ⅡB (1単位)
- ◆ THS 化学 (1単位)
- ◆ TS 数学Ⅲ (1単位)
- ◆ THS 化学基礎 (1単位)
- ◆ TG 数学ⅠAⅡB (2単位)

TG 英語入試実戦文法語法

(TG英語の受講生は無料で受講できます。この講座のみの受講はできません。)

時間割

	火		水		木	金		土	
16:50 ～ 18:20	TS 英語					TS 英語			
18:50 ～ 20:20	TS 数学ⅠA	TH 英語	TG 英語	TH 数学Ⅲ	TS 国語	TS 数学ⅡB	TH 英語	TG 英語	THS 化学
20:30 ～ 22:00	TS 英語	TH 数学ⅠA	TG 数学	TS 数学Ⅲ	TH 国語	TS 英語	TH 数学ⅡB	TG 数学	THS 化学基礎

※ 国語は変則回数で、毎週木曜日に加えて、学期に3～4回月曜日に講義がありますので、注意してください。

※ 化学基礎は一学期のみの開講です。

講座内容紹介

TT 英語 (2単位)

担当 前田

京大・阪大英語対策に特化した講座です。この大学が求めているオーソドックスな英語力とは何でしょう？それは Reading に関しては英文の内容を的確に把握する英語力と知性であり、Writing に関しては日本文の内容を客観的に把握し、確実な文法・語彙・語法の知識を運用して、誰が見ても意味の通る、原意を大局において反映した英文を書く力なのです。こうした英語力を養成することを目指す腰の据わった京大・阪大志望者のための講座です。(志望者がいる場合開講)

TH & TS 英語 (2単位)
担当 前田

～語彙力の充実 & 精読力から速読力へ～

目標 S クラス 滋賀大・三重大・静岡大など中堅国公立大や立命館大、龍谷大などの標準レベル英語を確実に得点できる知識レベルと演習量を確保する。

H クラス 金沢大・広島大・大阪市大・神戸大など上位国公立大や、同志社大等の英語の難易度の高い大学に必要な知識レベルと演習を行う。抽象的な内容が多いため国語的理解力が必要となる。

1 学期: 『語彙力』・『文構造分析力』・『文法』の3点における基礎力の充実

・テキスト S クラス「英語長文総合演習」

H クラス「TW 英語」

SH 共通 「英文法・語法」&「英文法・語法・英文解釈」サブテキスト

1 学期は精読を意識した読解力の養成&読解を通して正しい理解に基づく語彙力の確立

新課程になり軽視されているが、正しく大きく伸びるためには不可欠な文法語法演習

2 年生に続き、Listening 演習も行う。

夏期講習 集中読解演習(10日間)

狙い 1『1 学期の語彙』に加え、『入試に必要な語彙力』の 80%以上を習得する。

狙い 2『素早く』、『正確に』意味を取れる『慣れ』の醸成

2 学期: 『語彙力』『読解力』『総合力』の充実

・テキスト S クラス「英語長文総合演習」&「私大総合英語 or 共通テスト対策」

H クラス「TW 英語」&「TH 英語 or 共通テスト対策」

SH 共通 「英文法・語法」&「英文法・語法・英文解釈」サブテキスト

知識を縦横無尽に使いこなせるようになることが安定した読解力の確立につながる。

密度の濃い総合的な演習を積み上げ入試に十分対応できる英語力にまで到達する。

※単語集について 語彙力については授業で配布するプリントをマスターすれば、市販の単語集を購入する必要はない。どうしても購入するなら、『システム英単語』(駿台文庫)または『必携英単語 LEAP』(数研出版)を推薦する。使用法としては、単語集で単語を覚えることから英語を勉強するのではなく、8 月までプリントで覚え、その後抜け落ちている単語を単語集で補う形で勉強するのが理想である。

TG 英語 (2単位)

担当 漣

中堅大学はもちろん難関大学突破も視野に入れて、演習を通して総合的な英語力を養成していきます。授業は、長文読解を中心に展開していき、春期講習から1学期、夏期講習、2学期と少しずつ段階を追いながら、やや易しめの長文から2学期の後半ごろにはかなりハイレベルな長文までも扱うようにしていきます。

テキストは河合塾TS英語・総合英語の2冊を使用します。長文の内容も、評論文から、小説文や説明文など、いろいろなジャンルに及んでおり、長文を読みこなしていく中で、読解力に必要な文構造や節構造などの知識を正確に把握できるように指導していきます。同時に語彙力も身につけてもらえるように、授業後にはその日の授業で学習した長文の単語プリントも配布します。また、長文読解が中心となりますので、別に時間を設けて文法の授業(無料)も行ないます。

T G 英語入試実戦文法語法

担当 漣

センター試験・私立大学入試で頻出の文法・語法問題を完璧にしたい人が対象です。テキストはすべて出典大学名つきの入試問題で構成され、各講ともテーマ設定したうえで、[例題(解答・解説付)→演習問題→復習問題(解答・解説付)]という万全の学習体制で、年間で約1,600問の入試問題演習を行います。客観4択問題・正誤問題・整序作文を中心に様々な出題形式に対応し、この分野の実力を完璧なものとしします。(TG英語受講者はこの講座を無料で受講できます。)

T T 理系数学 (1単位)

担当 山田

京大・阪大・名大・医歯薬系志望者が対象です。難関大の入試問題は、答えが出れば満点という訳ではありません。論理性を欠いた答案や、論理が飛躍した答案はほとんど評価されることはありません。小手先のテクニックや暗記に頼る数学でなく深い思考力と表現力を鍛えることが必要です。(志望者がいる場合開講)

T T 理系数学

この講座は、河合塾の名大理系数学のテキストを用いて論理思考の基礎を作ります。問題の奥に潜む本質をとらえ解答を導くまでのプロセスを組み立てる力を養成します。夏以降は、京大・阪大突破テスト等によるテストゼミを通じて実践力・答案作成力を強化し、難関大突破のための総合力を高めます。

T H & T S 数学 I A ・ 数学 II B (各1単位)

担当 山田

～原理の理解を深める & 思考力・判断力・表現力を磨く～

これまでの受験数学は「知識(公式)を正しく使って結果の数値を出す」ことがほとんどでしたが、高大接続改革により新たに実施される大学入学共通テストでは「原理の深い理解ができているか」、「会話文形式で問題解決の過程を追う」、「文章・図・挿絵の中から必要な情報の取捨選択を行う」など、より多面的・総合的な学力を要求されるものになります。

一体どのような数学の学習をすれば成果があがるのでしょうか？もちろん数学ですから全く計算が不要になった訳ではありません。市販の問題集を用いて典型問題を解くトレーニングも必要です。ですがそれだけでは上に挙げたような力はあまり身に付きません。そのためには、『**基本が本当に分かっていること**』が求められます。基本と言うと初歩と混同されるかもしれませんが、基礎の習得こそ根気のいるものであり、その中に数学の深遠さや美しさ、そして多様な問題に通じる解法のエッセンスが凝縮されていると考えます。

このような考えを元に、授業では単に個別的な問題解法の解説に当てるのではなく、公式の成り立ちや関係性、そのところを知り、より汎用的な理解を目指します。

目標 Sクラス 滋賀大・三重大・静岡大など中堅国公立大、龍谷大・京産大・京都橋大などの標準レベルの数学を確実に得点するための知識・思考力・計算力を習得する。

Hクラス 金沢大・広島大・大阪市大・神戸大など上位国公立大や、同志社大・立命館大等の難易度の高い大学に必要な知識・思考力・計算力を鍛える。

※テキストはS、Hクラスいずれも河合塾「共通テスト対策」を、

S、Hクラス別に「私大・国立2次向け」のオリジナルテキストを使用します。

T H & T S 数学 I・A

「展開・因数分解」、「2次関数」、「データ」、「三角比」、「確率」、「整数」、「平面図形」など I A の全分野を一学期、夏、二学期と段階的に繰り返し学びます。一学期は講義中心で、夏は演習中心(予習+授業)。二学期はテストゼミ形式になります。

T H & T S 数学 II・B

「複素数と式」、「図形と式」、「三角関数」、「指数と対数」、「微積分」、「数列」、「ベクトル」など II B の全分野を一学期、夏、二学期と段階的に繰り返し学びます。一学期は講義中心で、夏は演習中心(予習+授業)。二学期はテストゼミ形式になります。

TH & TS 数学Ⅲ (各1単位)

担当 三田村

理系数学の入試問題の半分以上は数学Ⅲのテーマを含みます。つまり、理系入試の可否は数学Ⅲの完成度をいかに高めるかがポイントになります。この講座は、基本概念の深い理解からその応用方法までを効率的に学習し、確実な得点力を手に入れます。テキストは河合塾のTS 数学Ⅲを用い、頻出テーマの論理展開を定着させていきます。

THS 化学・化学基礎 (各1単位)

担当 山田

化学は博覧強記が要求される科目ですが、一旦軌道に乗せてしまえば、とても面白く受験で安定して得点できる科目です。自分自身が受験で理科の準備が間に合わなかった経験からも、皆さんには同じ思いをして欲しくありません。河合塾の化学・化学基礎のテキストを使用して、共通テスト、2次試験での得点力を着実に鍛えていきます。

TG 数学 (2単位)

担当 高桐

大学入試においては基本レベルから標準レベルの問題をしっかりと着実に解くことが、とても重要なこととなります。そのレベルの問題をキチンと解けるか解けないかで、合否が決まるといっても過言ではありません。そのため、このクラスでは、数学ⅠAⅡBの各分野について、基本事項の習得および定着を図ります。毎回河合塾の厳選された良問を通して、基礎力を固めるとともに、入試に対応できる実戦力を養い、突破する力を身につけることを目指します。また数学Ⅲが受験で必要な生徒につきましては、別途時間を設けて講義をする予定です。

TH 国語 (1単位)

担当 平井

確かな記述・論述力をつけなければ難関国公立大の合格はむずかしいものです。「記述式の問題を数多く解けば力がつくだろう」といった安易な発想では、いつまでたっても変わることはないでしょう。的確に力をつけるには、内容に即したポイントの絞れた答案作成の正しい訓練を積み上げる必要があります。この講座はそのための訓練の場であり、その訓練を通して入試突破の実力をつけることを目標とします。

TS 国語 (1単位)

担当 平井

最後に受験を決定的に左右するのが国語です。今まで、多くの生徒が国語に失敗して涙をのんできたことでしょう。原因は数え切れないほどありますが、その中でも古文に関しては決定的な知識不足、現代文に関しては正しい論理的な読み方をせずフィーリングで問題を解こうとする姿勢があると考えます。この過ちを繰り返さないためにもこの講座で確実な実戦力をつけてください。1学期は共通テスト、私大、国公立二次試験のための強固な基礎作りを行い、2学期は、確実に得点力をつける実戦演習を徹底して行います。

卒塾生からのメッセージ(2019年度)

京都大学・工学部進学

T. S.くん(虎姫高校)

僕は高3の4月頃、大学でやりたいことが見つからず悩んでいました。同級生の多くがすでに志望校を決めていたので少し焦りを感じながら志望校と大学でやりたいことを探していました。そこで今やりたいことがなくても大学に入ってからみつかればいいと思い自分のやりたいこと、そして面白いと思うことをみつけるために京都大学を目指しました。

受験勉強は高2の冬くらいから少しずつはじめていましたが本格的に受験勉強をはじめたのは部活を引退した高3の6月頃でした。僕はこの1年間、トライメイトの先生のアドバイスを取り入れながら自分なりに参考書を選び計画をたてて勉強を進めてきました。振り返ってみると成功したことよりも失敗したことの方が多かったように思うし、もしかするともっと効率がよく質の高い勉強法があったかもしれません。でも僕は今までやってきた受験勉強に対して後悔はしていないし、自分で色々考えて勉強したことはこの1年間の大きな収穫の1つだったと思います。

最初は受験について分からないことが多いので学校や塾の先生がアドバイスを下さると思います。しかしそれをすべてやり切るのは時間的に難しいし、もらうアドバイスは様々です。そこでどれが自分に適しているのかモチベーションを保ちつつ、無理なくこなせるのかななどを自分で一度考えてから決断することが大切だと思います。僕は自分の好きな教科を活かせる選択をしたお陰で勉強の楽しさや面白さに触れることができたし、4月の時点ではなかった大学の目標も受験勉強を通してだんだんと見えてくるようになりました。

受験勉強は目指す目標が高いほど苦しくなると思います。でもその分価値のある1年になります。ぜひ、1年間全力で頑張ってみてください。

滋賀大学・教育学部進学

H. K.さん(虎姫高校)

私は、トライメイトに入って良かったと思います。高2の春にトライメイトに入るまでは、勉強の進め方や内容がさっぱり分からず、数学で欠点を取ったり、回避してもギリギリで耐えるという散々な成績でした。しかしトライメイトに入ってから授業やテスト対策のおかげで成績が安定するようになりました。そして3年になり受験勉強が始まると授業に緊張感が増し、仲間との一体感が高まるようになりました。現実を突き付けられ辛い時期もありましたが、逆に現実をしっかりと見つめることで自分自身の甘さや足りていないものを意識することができ、受験勉強を前向きに進めることができました。どうしても辛いときには仲間とご飯を食べながら話したりすることで気晴らしをしました。1人では乗り越えられなかったであろう受験勉強に共に立ち向かって行ける仲間や先生方とトライメイトで過ごした時間は受験勉強の中での良き思い出です。そして何よりも、トライメイトの先生方のアツい授業、アツいお話は本当に良かったです。私たち生徒を成長させようと真剣に向かってきてくれる姿はとて心強く感じられ実際に確実に力もつきました。トライメイトに入っていなければこの合格は得られなかっただろうと思います。本当に入ってよかった！ありがとうございました。

広島大学・教育学部進学

S. Y.くん(虎姫高校)

僕は野球部に所属していて、真剣に受験勉強を始めたのは高3の夏からでした。自分は他の人より遅れた状態でトライメイトに高3の夏期講習から入りました。このとき自分は基礎部分があやふやで英語は単語、文法ともに全く身に付いていませんでした。しかしトライメイトでしか手に入らない前田先生の特製プリントだけを使って単語を覚えることで単語帳を使わずとも英語力を上げることができました。数学は山田先生から二次試験対策のプリントをいただきその問題を解いて先生に答案をプロの目線から見ていただくことで論述ミスやケアレスミスを減らして記述力を上げることができました。

勉強は1人でするものですが1人では特に重要な問題、その問題ごとの要点、自分の答案のミスに気付きにくいと思います。自分はトライメイトでそういったものに気付き勉強の質をあげることができました。トライメイトに入っていなければ僕の広大合格は厳しいものだったと思います。

短い間でしたがありがとうございました。

滋賀大学・教育学部進学

K. I.さん(虎姫高校)

大学受験を終え、勉強は継続してこそ身につくもので一時的な努力では力はつかないのだと実感しました。私は3年生の夏休みが終っても志望校が決まらないまま時間ばかりが過ぎてしまいました。10月頃になり志望校が決まるとおのずと受験勉強に身が入りました。しかし、模試では思うように伸びず何度ももっと早く始めておけばと思いました。

やがて冬期講習が始まり、周りの塾生の点数を見るたびに焦りや不安が募りましたが、毎日14時間以上勉強することで充実感が生まれ、勉強することが楽しくなりました。センター試験や私立入試が終ると受験を終える友達も増え、二次試験までの期間は凄く辛く感じました。そんなときタイムイトの先生方に支えられ最後まで諦めずにやり抜くことができました。先生方には感謝してもしきれません。私も先生方のような立派な先生になれるように大学で頑張りたいです。3年間ありがとうございました。

富山大学・経済学部進学

S. K.くん(虎姫高校)

「受験は団体戦」この言葉の意味を肌で感じたのは冬期講習でした。冬期講習では膨大な量の問題を解きました。時間に追われ焦りもあり、本当につらかったです。それでも、やり切れたのは先生方や友人、家族の支えがあったからです。

実際の試験は個人戦ですが、そこまでは団体戦です。周りを頼ってください。僕自身も先生や友人によく質問をしに行きました。そうできる環境がタイムイトにはあります。一人で抱え込まず、気持ちに余裕を持ってこれから頑張ってください。

タイムイトには中学校から、長い間お世話になりました。今までありがとうございました。

金沢大学・人間社会学部進学

J. K.くん(虎姫高校)

受験は団体戦です。もし友達とお互いに疲れたとき、おしゃべりすることで「苦しんでいるのは自分だけではなく、みんなも苦しんでいるんだ」と気が和らぎました。また、タイムイトの先生方は勉強で分からないところを教えてくれるだけではなく、自分自身にあった進路を勧めてくれたり、長年の経験を踏まえた上で的確なアドバイスを送ってくれました。受験生は一人黙々と勉強しているのではなく、周りの友達や先生に支えられて勉強ができていたのだと実感しました。困ったときは友達や先生を頼り、自分は自分で友達や先生に頼りきりになるのではなく、友達の支えになれるようになって下さい。

沖縄県立芸術大学・美術工芸学部進学

S. Y.くん(虎姫高校)

自分が以前志望していた大学は実技試験のないデザインの大学でした。もっともその志望というのは、その大学で学べることへの魅力よりも実技試験に自信がないから、という後ろ向きな理由からの志望でした。それでも、デザインを学びたいという気持ちはあって、当時は「勉強を頑張って入ってやるぞと」意気込んでいました。

しかしセンター試験で思うような点数が取れず、出願する大学の決定はとても悩みました。そもそも「デザイン」を学べる国公立大学の数は少なく、学科のみの大学で下げて出願できる大学はありませんでした。

悩んだ末に実技試験の比重が大きい大学へ出願することを決めました。なぜなら、将来「デザイン」をするのに学科試験で大学を落ち、「デザイン」学べなくなったとしたら後悔してもしきれなくなると思ったからです。まだ実技の実力不足ではねつけられた方が納得できると思いました。もちろん落ちる気はなかったので必死に残りの時間を実技の勉強に充てました。その時間は自分の本当にしたかったことを見つけられた時間でもありました。

これから受験する皆さんに言いたいことは2つあります。1つ目は「後悔のしない選択をして下さい」ということ、2つ目は「自分のしたいことを見つけてください」と言うことです。

タイムイトでは大変お世話になりました。勉強面はもちろん、親身になって進路のことを気にかけて頂けたのはありがたかったです。先生のあと押しがあったからこそ最終的には迷いなく今の進路を実現することが出来ました。中学校から6年間ありがとうございました。

卒塾生からのメッセージ(2016～2018年度)

神戸大学・経済学部進学

M. N.くん(虎姫高校)

僕の大学受験はとても短かったように思います。それはきっと受験が楽しかったからだろうと思います。想像していた受験は、遊ぶ暇もなく、睡眠時間を削って勉強、勉強、勉強みたいなイメージでした。まあ、このイメージはきっと高2の修学旅行が終わってから学校の先生たちが「さ!受験モードに切りかえやぞ!」みたいなムードを出して僕を焦らせたからだろうと思います。でもちがいました。トライメイトで短くても内容の濃い授業をちゃんと受ければ夏休みに遊ぶ時間や土日に遊ぶ時間くらい余裕で確保できました。夏休みが勝負だぞ、一日10時間勉強しろとか、学校の先生たちはこう言っていますが、10時間本当に集中して勉強するのは僕には無理でした。集中せずにする勉強は正直なんの意味もありません。2年生までの学校の提出物や定期テストとはわけがちがいます。だから夏休みの夏期講習はすごく良かったです。マックスに集中した状態での勉強を強制してもらえたので、すごく成長しました。また冬期講習は、すごい量の問題を解かなければならず集中してやらなければ一日で終わらない量です。しかし確実に問題を解くスピードは上がり弱点も克服できます。確かにしんどいですが、センター前独特の緊張感と友だちと一緒に一つの教室で目標に向かってペンを走らせたことの喜びを味わえたのはトライメイトだからです。おかげで僕はセンター本番でセンタープレから50点も上げることができ、志望校に合格できました。

そういえば僕がなぜ受験が楽しかったと感じたか理由を述べていませんでした。察しがつくかも知れませんが、ひとえに塾が好きだったからです。塾でみんなと勉強するのが好きだったからです。分からない問題をみんなで考えたり、おしゃべりしたり、ご飯を食べたり、物を貸し借りしたりできたのが幸せだったからです。辛い受験中も笑顔でいられたのはトライメイトにいたからです。みんなで努力することは本当に素晴らしいことです。家で一人じゃ息がつかります。辛さ、喜び、緊張を分かちあえた仲間がいれば、受験なんて楽勝です。本当にトライメイトに入ってよかったと感じます。後輩の子たちも周りの友だちと支えあい、競い合い、笑顔で受験を乗り越えあってください。がんばれ!!

滋賀医科大学・医学部進学

A. M.さん(虎姫高校)

私は家で集中することが出来なかったので1年生の頃から学校や自習室を利用し、勉強していました。学校、部活、塾が始まる時間より早く行き勉強時間を確保していました。

理系だったのですが、2学期に入り理科基礎で受験、推薦を受けることに決めました。面接は本番では楽しむことができ、さらに大学に行き他の受験生の人と話したことで勉強への意欲が高まりました。しかし、推薦を受けるにあたり志望理由を書くことや面接の練習にたくさん時間がかかってしまいました。勉強の時間がみんなより少ないのではないかと、という不安の中迎えた冬期講習。自分の目標の点数が取れず落ち込み、あと少しでセンターなのにどうすればいいのかと焦っていました。点数が取れず悔しくて泣く私の話を先生方はいつも聞いてくださり、励ましてくださいました。そして、アドバイスをもらうたびに最後まで諦めずにやりきろうと思うことが出来ました。この冬期講習を耐え抜いたおかげで、本番ではたくさんの科目で過去最高得点を取ることが出来ました。合格したと伝えた時、親や友達、トライメイトの高等部、中等部の先生、たくさんの人に「おめでとう」と言ってもらえてとても嬉しかったです。改めてこんなにも多くの人に支えてもらっていたのだなと実感しました。第1志望に合格できたのは先生方のサポートのおかげです。本当にありがとうございました。

名古屋大学・農学部進学

S. H.くん(彦根東高校卒)

僕は高校二年の途中で病気になってしまいその後はほとんどまともに勉強できませんでした。卒業後京都の有名予備校に通いましたが通学に往復2時間以上もかかり、十分な復習時間を取れなかったため勉強したことを消化できず、思ったように学力は伸びませんでした。この経験を経て選んだトライメイトで、素晴らしい先生方に教えて頂いたことに今では本当に感謝しています。

トライメイトの良い点は教材が一流予備校の河合塾のものであること、そして先生方との距離が近くいつでも気軽に質問に行けてきめ細やかな対応をしてもらえることです。他の塾でもチューター制度はありますが、トライメイトでは授業を直接行っている先生に質問ができるので、疑問点もすぐ理解して下さいますし、答えも的確で類題や背景知識などを教えてくださることもあり理解が深まります。人数が多すぎる塾や予備校、映像授業ではこのような点は望めません。

学力を伸ばすために必要なものはなんですか?僕が確信を持って言えるのは「演習量」です。これが足りないから伸びないのです。暗記だけでは絶対本番の試験に太刀打ちできません。僕はこのことをトライメイト名物の3年の冬期講習で悟りました。この冬のセンター特訓では、理科、社会のセンター形式問題を20回分解きます。もちろん英語

数学国語も 10 回分以上やります。ここまでやって、ようやく慣れができてきます。問題を解くことに対してのキレが徐々に上がり研ぎ澄まされていくのを身体で実感しました。そして、長年教えておられる先生方はどの程度勉強させればどのくらい伸びるのか、ということを把握しておられます。

「このレベルの生徒ならこの問題をこれくらいやらせると伸びる」「センターで点を取らせるためにはこれだけやらせなければいけない」「〇〇大学で合格するためにはこのくらいの問題を解ける必要がある」

トライメイトはこう言った判断により生徒に適切な問題を必要な量解かせます。この指導方法のおかげで僕は成績が伸びました。「〇〇大学志望と言っているからから、本社が用意した専用の講座を受けさせておく」といったほかの塾のやり方とはトライメイトは違います。

次に各科目を。僕は理系ですので英数理社についてです。

英語の授業では河合塾で現役生用に実際に使われている教材の問題(様々な大学の過去問など)を使い下線部の訳し方の根拠や重要文構造などの説明を授業で受け、その問題で出てきた重要単語を前田先生がピックアップした自作のプリントも配ってくださいます。このプリントは 2 枚構成で 2 枚目は穴埋め形式となっているのですが、おそろしく良くできているので、これらを繰り返すことで英単語では他の受験生よりも大きくアドバンテージが持てます。文法は動詞を軸とした解釈により理解しやすい授業となっています。また、英語の勉強の厄介な点として「模範解答がこれなのはわかった。で、自分の回答はどうなの?」というのが挙げられますが、英作文でも英文和訳でもきちんと前田先生が良いのか悪いのか教えてくださいますし、添削もお願いできるので点が取れる英語力が身に付きます。

数学でも河合塾が予備校生用に用意した良質で必須な問題を解きます。予習でその問題を解き、授業では山田先生の注釈がついたプリントに正答を書き込んでいくことになります。注釈には必須知識がわかりやすく載っており、わからない点があっても先生に質問にいくことができます。もちろん英語同様、添削をお願いできますし、苦手な分野があれば良い問題を渡して下さったりもします。僕は高校数学が大の苦手で、このさき一生苦手だろうと思うのですが、それでも山田先生に同じ問題を何度も質問に行ったりし、そのたびに丁寧に、そして多角的な見方などを教えて頂き、なんとか名古屋大学に滑り込めるくらいの数学力を付けて頂きました。理系である以上、大学入試で数学からは逃げられません。数学の一問というものはとても大きな配点を持ちます。難しい問題が試験で並ぶ中で、少しでも喰らいつき、一点でも多くとることが重要です。トライメイトでなら、そのための数学力を付けられると思います。

理科社会では、先生方の長年の経験で、伸びるためのおすすめの問題集を教えてくださいたり、河合塾の問題を教えてくださいたりします。理科社会で大切なのは、先ほども書いたように演習量です。これらの科目を暗記で済まそうとしていませんか? 良いといわれる参考書を何冊も買っていないませんか? 担任に勧められるままに評判の良い映像授業を受けて、流石わかりやすいなあと思ってそれっきりにしていませんか? 予備校講師の参考書や映像授業は大抵わかりやすくできています。どれでもそう大差はありません。それでも伸びないのなら、それは演習量が足りていないのです。繰り返しになりますが、理科社会は暗記科目ではありません。アウトプットを繰り返して実力が付きます。そして先生方もそれを理解しておられます。だからこそ冬のセンター特訓です。鬼のように解きまくって、真の実力を身に付けてください。

最後になりますが、無機質で役割が分担された、予備校や映像授業塾の担任制度はシステムチックに思えますが、それよりもトライメイトのように総合的に見てくださるほうがずっと優れている、というのが僕の結論です。サボっていたり、気がふわふわしていたり、試験直前で気が動転していても、きちんと一人一人に本気で向き合ってくださいます。それは、先生たちがずっと生徒のことをずっと見てくださったからです。先生方のおっしゃることを信じて演習を積み重ねていけば必ず成績は伸びます。トライメイトで僕のように合格を掴み取ってください。

金沢大学・理工学部進学

K. N.くん(虎姫高校)

僕は野球部に所属しており毎日朝6時から夜7時まで部活だったため、周りの人より勉強する時間が少なく、また引退するのも1ヶ月ほど遅かったです。その中でも、毎日数分だけでも机に向かうように習慣づけていきました。どんなに部活でヘトヘトになってもこれ続けてきたことによって引退してからすぐに切り変えることができたのだと思います。

僕は英語が大嫌いでした。そのため、特に英語と数学がとても強いといわれているトライメイトに入りました。僕の英語力はとても低く、欠点を取るくらいでしたが、トライメイト直伝の単語プリントによって単語力が身につく、英語力が上がったと思います。僕の受験はトライメイトなしでは上手くいくことはなかったと思います。僕はセンタープレからセンター試験で 100 点近く上がりました。これは楽しい冬期講習のおかげだと思います。受験は最後まで諦めないことが大切です。最後まで諦めずにがんばってください。

静岡県立大学・薬学部進学

M. U.くん(虎姫高校)

僕は1年の始めからトライメイトでお世話になりました。

僕はもともと数学が苦手で、いつも足を引っ張っていましたが、トライでの授業のおかげでいい点数がとれるようになりました。また、得意だった英語も、単語、文法、長文とそれぞれの分野を丁寧に指導して下さったおかげで、得点源にすることができました。

通常授業のほかにも、冬休みのセンター演習では、本番に近い雰囲気の中で大量の問題を解くことで、本番でも緊張することなく落ち着いて問題を解くことができました。

僕は、昔から薬学部に入りたいと思っていましたが、3年の初めまではDやE判定ばかりでした。しかし、そこから判定を上げ、合格までこれたのは、間違いなくトライメイトでの学習のおかげです。

受験勉強を進めていく中で、いい点が取れずに、諦めたくなることは多くあると思うけど、その時に粘れるかどうかが大切だと思います。後輩の皆さんも最後まであきらめず第一志望合格を掴み取れるよう頑張ってください。

関西学院大学・教育学部

S. K.くん(虎姫高校)

僕は一年生から野球部に所属していて、日頃の週末課題や夏休みの課題も部活の練習で疲れたからと自分に言い訳をして、おろそかにしてしまい、定期テストもその場しのぎでやり過ごしていました。今から考えると、まともな知識がついているといえるような学力ではありませんでしたが、当時の自分は、定期テストで真ん中より上位にいるからまあいいやと思っていました。しかし、二年生になって前田先生に出会い授業でボロボロに言われるようになり、自分の力のなさを知り、とても悔しくて、そこから毎回の授業をきちんと受けようと思い、毎回の授業を大切にするようにしました。そして部活動を引退してからは、夏期講習で基本を押さえ、秋で少しずつ力をつけ、冬期講習で実践的な力をつけ、なんとかセンター試験で結果を残し、その勢いのままなんとか関西学院大学の教育学部に合格することができました。

僕が偉そうに言えることではないですが、自分の可能性を最後の最後まで捨てないでください。高いレベルを目標として、前を向いて途中でどんなに苦しいことがあっても、前を向いて突き進んでください。トライメイトには苦しい時でも支えてくれる先生や仲間がいます。高校三年生の一年を後悔のないように過ごしてください。

大阪教育大学・教育学部進学

S. S.さん(虎姫高校)

私は高校1年生が始まって少し経ってからトライメイトに入りました。1. 2年生の時、授業中によく寝てしまい、先生に毎回起こされていました。まだその時、受験というものがないので全然理解できていなくて、授業に完全に身が入っていませんでした。しかし、3年生が始まって、部活を引退した頃から自分の勉強のできなさや周りとの差がより一層分かってきて、とても焦りました。授業はちゃんと受けて周りのみんなについていけるように努力しようと自分で決心して頑張りました。学校の先生が言うとおられたように、受験は団体戦だとトライメイトでいつも実感していました。トライメイトに通っている同級生は多くて、賢い人もたくさんいたので自分も負けないように、と勉強しました。勉強に集中できない時は、友達としゃべって一緒に笑い合っただけで勉強のことは一旦忘れていました。勉強をたくさんすることは大切だけど、休憩する時間をちゃんと取ることも大切だと思います。受験と聞くと勉強一筋というイメージですが、それでは体がもたないです。時には、先生たちの所に行って、しゃべったりアドバイスをもらったりしてストレスを発散していました。周りの人たちの支えは本当に大事なとトライメイトではよく分かりました。もし私がトライメイトに通わずに家で一人で勉強していたら、センター試験で納得のいく点数は取れなかったと思います。

また、私が一番つらかったのは、夏休みです。もちろん冬期講習もつらかったけど、冬期講習はやらなければいけない事が多すぎて何も考えられないくらいでした。夏休みは英語や数学の授業がたくさんあって、他の教科の勉強は自主的にやらないといけないので、本当に自分の勉強法が合っているのかが不安なことも多かったです。特に日本史には長い時間をかけて勉強しました。参考書を読んだり、サテライトを観たりして今までの全然できていなかった部分を埋めたつもりでいました。しかし、夏休みが終わってからの模試では思っていたほど点数は取れず、勉強が嫌になりました。けど、自習室や食堂に行くと、みんな必死に日本史を勉強していて、それが大きな励みとなりました。

私がセンター試験で取れた点数は今までで最高点でした。自己採点が終わった後、勉強を続けてきて良かったと思っただけで、トライメイトに入って本当に良かったと感じました。トライメイトの先生たちには本当に感謝しています。ありがとうございました。



高3冬期講習センター対策講座風景 2018年1月5日撮影

金沢大学・理工学部進学

T. I.くん(虎姫高校)

僕が真剣に受験勉強を始めたのは、高二的春休みくらいからでした。それまでの勉強といったら、学校から出された課題をするくらいで、それほど受験を意識していませんでした。ただ、それからは受験モードにきりかえて計画・実行という形で勉強に取り組みました。しかし、なかなか思うようにいかず、特に物理・化学で伸び悩んでしまいました。センターの模試では物理・化学は毎回五割ちょっとくらいで理系としては致命的でした。センタープレでも残念ながら点数は伸びず、そのまま冬休みに突入しました。この冬休みに僕は塾の冬期講習で覚醒しました。冬期講習では、昼食とトイレ休憩以外机に向かい勉強する日々でした。正直、今までになくつらかったけど、それでもがんばれたのは同じ受験生の仲間やサポートをしてくださった先生方のおかげです。センター本番ではその成果が実り、物理・化学とも9割を超えることができました。二次試験の対策では、冬期講習で鍛えたこともあり、毎日の勉強にそれほどつらさを感じず、むしろ楽しめたと思います。金沢大はセンターの判定では C で、実は勝負の瀬戸際で危ないところではあったけど、その分がんばることができ、二次試験では全力を尽くすことができました。ここまで自分が成長できたのは、トライメイトのおかげです。トライメイトに入って、本当によかったです。先生方、お世話になり、本当にありがとうございました。

鳥取大学・農学部獣医学科進学

S. B.くん(虎姫高校)

僕がトライメイトに入ったのは二年の冬期講習からです。僕は野球部に所属していて、日夜部活に明け暮れていたため他の人に比べると勉強する時間が確保できていませんでした。しかし、入塾前はそこにあまり危機感を感じていなくて、部活引退後にどうかなるだろうくらいに考えていました。入塾後は自分の学力の基礎部分があやふやなことになり、少ない時間でも勉強するようになり、塾の授業によって少しずつ基礎的な部分が出来上がっていききました。そのおかげもあって部活引退後からグングン模試の結果も良くなっていき第一志望の大学に合格することができました。

実は、自分が第一志望の大学に合格できるとは思ってもいなかったし、二次試験に挑戦できるとも思っていませんでした。そこで、僕が受験生に言いたいことは「最後まで諦めるな」です。すごくありきたりで、僕自身も何度も聞いてきた言葉ですが、とても大切な言葉だと思います。実テや模試の結果で落ち込むこともあるでしょう。そんな時でも、もうダメだとは思わないで最後までやりきってみてください。案外、一生懸命やってみると途方もないように思える夢でも手が届くはずですよ。また、僕は飽き性なので、同じ問題集を何度も解き直すことが嫌でした。なので、様々な大学の過去問を解いていました。今思うと、これが自分に合っていたのかなと思います。受験生にも、自分に合った勉強法を見つけて欲しいです。

ともに支えあった友達や最後まで付き合ってくださった先生方、色々支援してくれた家族には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

京都教育大学・教育学部進学

M. I.さん(虎姫高校)

私は高三の夏期講習に、友達から誘ってもらい受けたことをきっかけに、トライメイトに入りました。講座を受けると、とても分かりやすく、また、自分の勉強の足りなさにも気づかされ、夏以降もトライメイトで勉強したいと思い入りました。今思うと、夏期講習を友達に誘ってもらえて、塾に入ると決めて本当に良かったと思います。

特にそう思えたのは、冬期講習です。センター試験と同じ時間配分のテストを繰り返しました。なかなか点数が伸びず、センターも近づいていたので、とても焦りましたし、不安もつりました。でも、この冬期講習を受けたからこそ、自分に足りていない部分に気づけたり、なにより自分にあった時間配分を身につけることができました。そのおかげで、センター本番でも、「あと〇分あるから大丈夫。」といったように、落ち着いて解くことができました。そして、辛かった冬期講習を最後まで頑張ることができたのも、大学に合格できたのも、トライメイトで必死に勉強している友達がいてくれたからだだと思います。勉強したくないと思っても、頑張っている友達がいたから、自分もやらなくてはとやる気を出せたり、諦めそうになったときには相談にもものってくれました。一人では、合格にたどりつけなかったと思います。そして、最後の最後まで、丁寧に分かりやすく教えて下さった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。トライメイトで受験と戦えて本当に良かったです。ありがとうございました。

金沢大学・人間社会学部進学

R. N.さん(虎姫高校)

私は1年生も2年生もテスト期間だけ勉強してその期間で詰め込むタイプでした。トライメイトのテスト対策の授業は長くて量が多くてとてもしんどかったのを覚えています。でも、みんなが真剣に取り組んでいたのも私もがんばれました。今思うと、トライ生の集中力は、そういう所で培われていたのだろうと思います。そして、3年生になってからは本当にいろいろなことがありました。私は、2年生の頃から志望校が曖昧で、そのせいで勉強のやる気を保つのに苦労したこともありました。なので、志望校をハッキリと持つこともとても大切なことだと思います。しかし、そんな私がセンター試験や二次試験までがんばれたのは、間違いなくトライメイトと一緒に戦う仲間や一人一人に向き合ってくれた先生方がいたからです。センター試験までは、不安ばかりで、私の大嫌いな日本史を毎日しなければならぬという辛い日々でした。そして、トライ名物の冬期講習ではありえない量の問題を解いてたくさんマーク練習をしました。その時は量の辛さよりも、思うような点数がとれない辛さの方が大きかったし、もう少しで本番だという焦りもありました。でも、同じ部屋に籠って1日の半分以上をみんなと過ごす中で、辛いことばかりではなく、楽しいこともたくさんありました。自分と同じように不安を抱えている人たちといたから私はその冬期講習や、センター試験を乗り越えることができました。センター試験で感じたのは、理科や社会の大切さです。先生が毎日「日本史しろよ。」と言っていた意味がよく分かりました。二次の向けての勉強はセンター試験の勉強よりも楽しかったです。二次の対策もしっかりとさせていただき、和やかな雰囲気でもがんばることができました。

私はこの受験期でとてもたくさんのもので得たと思います。受験を終えて改めて思うと、私の人生で一番辛い一年だったなと思います。でも、そんなこと感じないくらい、毎日笑顔にしてくれて、不安を分かってくれた人達が私の周りにはたくさんいました。受験は思っている以上に辛かったけど、思っている以上にとても楽しかったです。

受験はすぐに終わります。後からもっと勉強していたらと思ってももう遅いです。なので後悔しないよう、学校の勉強もトライメイトの授業も一つ一つ大切にしてください。

私はトライメイトに入って個性が強くて面白くて優しい先生方や、一緒に受験を戦ってくれる仲間に出会えて良かったです。周りの人たちの支えがなければ合格はできませんでした。たくさんの方の優しさや、何かに一生懸命になることの大切さをこの受験の中で強く感じました。最後にトライメイトに入って良かったです。先生方、本当にありがとうございました。お世話になりました。

金沢大学・理工学部進学

D. K.くん(虎姫高校)

僕は二年生の終わりの段階で、国公立大学に合格することも危ぶまれる状況にありました。定期考査で二桁の順位を取ったことはなく、毎日ほぼ勉強していませんでした。この頃から僕は勉強に本腰を入れ始めました(これは遅過ぎです)。3年生で僕とはとにかくトライメイトの授業を大切にしました。トライメイトでの授業を信頼していたからです。僕が言いたいのは、学校の授業の質が劣るということではなく、自分が頼りにできるとしか感じる先生や授業から学ぶことがとても大切だということです。それが学校でも塾でも構いません。僕の場合はトライメイトでした。それ程にトライメイトの先生方は信頼でき、尊敬できるものでした。

今、思うように勉強ができなくて焦っている人がいると思います。満足に机に向き合うことのできない自分に苛立ちを感じている人がいると思います。僕も一年前はそうでした。ですが心配は不要です。そのような葛藤を抱えていることは勉強への意欲がある証です。そのような人は必ず伸びます。本当にまずいのは焦りすら感じていない人達です。彼らはスタートのグリッドにつくことさえできていません。そのような人は永遠に走り出すことはありません。しかし、焦りを感じている人達は確実にスタートラインに立っています。今は身支度を整えているだけ、走り出すのは時間の問題です。

そして、トライメイトという塾は、しっかりとそのような人達を支えてくれます。僕の三年生での受験勉強はトライメイトに頼りっきりでした。先生が授業で言ったことは、マメ知識でもなんでもすべて書き取りました。テキストは3周4周しました。与えられるべき知識、サポートはすべて揃っています。自分の頑張り次第でいくらでも上へ引っ張ってってくれる塾だったなというのが正直な感想です。

中学生のときから長らく本当にお世話になりました。ありがとうございました。

京都工芸繊維大学・工学部進学

T. S.くん(虎姫高校)

僕がトライメイトに入ったのは小五のときでした。そして8年間勉強はもちろん色々なことを学ばせてもらいました。僕が受験を意識し始めたのは文化祭が終わった頃でしたが、このとき本当の受験の心構えは分かっていたとは思いません。でも冬のセンター試験対策の講習を受けてから考えが変わり、自分の甘さに気付かれました。先生方の熱いご指導と激励のおかげで勉強を頑張って続けることができ、英語では筆記が9割近く、数学でもそれまで取ったことのない点数を取ることができました。センター試験が終わり、僕が一つレベルの上げた大学を受けたいと言ったときも、先生方は応援してくださり毎日親身になって指導してくださいました。数学の複素数や極限も12月まではさっぱりでしたが今ではかなりできるようになったと思います。英語も「単語は覚えろ」と繰り返し先生が言っておられたので、単語力は誰にも負けません。

こんな出来損ないが当初の志望校よりも難しい大学に合格できたのは他の誰でもないトライメイトの先生方のおかげです。センターや二次対策でみんなと同じ教室で同じ問題を解いていた緊張感は今思い出してもゾッとします。自分の思うような点数があまりとれずに劣等感に苛まれる日々でしたが、これも僕の人生の大切な貴重な思い出です。

最後に僕がトライメイトでの受験勉強を通じて学んだことをここに残しておきます。想いの強さが結果につながると思います。まず志望校への想いがなければ努力も続きません。その大学に激しく行きたいと思うことで、勉強の意欲も湧いてくるし、頑張ろうと思えます。はい、結局精神論です。

繰り返しになりますが、最後まで僕の勉強につきあって下さった先生方には感謝してもきれません。このトライメイトに来て本当によかったです。8年間ありがとうございました。

高知工科大学・経済部進学

R. S.くん(虎姫高校卒)

僕は、中1の夏からトライメイトに入りました。5年半以上入っていました。中学の頃は、定期テスト前などは特講などで理科や社会などの対策もしてもらい、とても役立ちました。高校に入り、1年生から継続しました。正直1年、2年の半ば前までは、あまり勉強に対する意識は低かったと思います。しかし、高校2年の後半からは少しずつ意識が変わっていき、塾でやった英単語や古文単語を覚え始めました。古文・漢文や英語のどれも単語が本当に大切だと思います。なので、これから受験生になる人は、もちろん1・2年生の間から単語を覚えておくと、後の自分の財産になります。これを塾の先生が何度も言っていたのでやってやろうと思い、結果受験が終わった後でさえ財産になると思います。ところで3年間の中で一番きつかったのは、センター直前の冬期講習です。朝から晩まで毎日のように問題を解いて解説を読むの繰り返しで本当に辛かったです。それでもがんばれたのは家族や先生そして一緒に受講しているみんなの頑張っている姿に支えられたからだだと思います。本当にトライメイトに行っていて良かったです。

高知大学・理工学部

Y. M.くん(虎姫高校卒)

僕は勉強をしない人間でした。それも高3の12月まで。そんな僕でも国公立大学を受験し合格できたのは、トライメイトの先生方のおかげだと思います。

僕は英語と数学が苦手で、成績はいつも赤点がつくほどでした。しかし通常授業と冬期講習での丁寧な解説のおかげで、センター試験では数か月前の自分では考えられない点数をとることができました。二次試験の受験科目は唯一の得意科目である生物のみの大学を選び、生物だけを勉強していました。トライメイトの先生方は担当科目ではないにも関わらず様子を見に来てくださったり、過去問をわざわざコピーしてくださったりと本当にお世話になりました。トライメイトに入って本当によかったです。今まで勉強に取り組むことをせず、努力という言葉の意味を知らなかった自分が、努力の意味を知り、これから先、努力をする必要がある場面でもあきらめず頑張ることができる自信がついたからです。

勉強が嫌いなこれから受験に臨むという人へ、僕が言えることは、「感謝を知る」ことだと思います。何気ないことでも、僕に働きかけてくださった人の心の動きを想像してみると、自分がいろいろな人に支えられていることが身に沁みます。そうしてようやく勉強に身が入るようになります。僕はそうでした。最後に、先生方、本当にありがとうございました。

小学部のご紹介

生徒の笑顔がはじけています。ぜひ一度ご覧ください。

小学1年生～6年生



● **のびのびじゃんぷ教室** (小1～小6)

◆ 教科 : 算数・国語 (1教科受講も可能)

のびのびじゃんぷ教室は、原則的に4名程度までの個別指導をします。
算数・国語の力をぐんぐん伸ばします。

『無学年制』の教材ですのでいつからでも始めることができます。

『進級式』の教材ですから、勉強するのが楽しくなります。自信がヤル気
を生み、学習にも意欲的になれます。

進級時には、「進級テスト」や「漢字テスト」で重要事項を定着させます。

教室は楽しい雰囲気、学習がスムーズに進むように心がけています。
いつでも「体験学習」ができます。ぜひ一度、のぞいてみてください！

料 金：月額 2教科7,900円 (1教科5,000円)・諸経費1,000円 (テキスト代込)

通塾日：回数無制限。月に何回来ていただいても結構です。

● **小5教科書英語**・**小6教科書英語** (小学5年生・6年生対象の集合授業)

小学校の英語の教科書に準拠した内容の授業を行います。

小学校の流れに合わせて、復習をし、定着させます。

小学校よりも、「英語の読み書き」に重点を置きます。。

料 金：月額 3,500円・諸経費1,000円・テキスト代別途

通塾日：各学年 週1回 午後5:00～5:45

(4月開講～3月まで 42回以上)



※ 何教科受講されても、小学生の諸経費は月額1,000円です。

※ 以上の金額はすべて税別

ベネッセの英語教室「ピーススタジオ」(年少～小6)も開講中です。詳しくはホームページで。

中学部のご紹介

トライメイト進学舎では、小中高の一貫教育を実践しております。

中学部本科(集合授業)では、主に虎高・北高・東高を目指す中学生を対象に授業をしています。

本科 中1・中2 特進 コース

週 2 日で英・数
週 3 日で 5 教科

- ・英語・数学を手厚く。発展的な問題にも取り組み、学力を高める。
- ・英語・数学が週 2 回ずつあります。学校の先取り学習です。(英語・数学は必修)
- ・週 3 日の通塾で、5 教科を受講することができます。
- ・夏期講習と冬期講習は年間授業料に組み込まれています。
- ・彦根東高校や虎姫高校など県立上位高校をめざします。ハイレベルコースです。

本科 中1・中2 内申アップ コース

週 1 日で英・数
週 2 日で 5 教科

- ・部活動や習い事などで忙しい方にピッタリです。
- ・英語・数学が週 1 回あります。学校の先取り学習です。(英語・数学は必修)
- ・週 2 日の通塾で、5 教科を受講することができます。
- ・夏期講習と冬期講習は、特進コースと同回数の講習。英語・数学の回数が増えます。
- ・虎姫高校や県立の中上位高校をめざす方を対象とします。

本科 中3 特進 コース (受験対策)

週 2 日で英・数
週 3 日で 5 教科

- ・英語・数学が週 2 回ずつあります。学校の先取り学習です。(英語・数学は必修)
- ・週 3 日の通塾で、5 教科を受講することができます。
- ・2 学期中に、教科書内容の全履修を終え、冬期講習以降は、高校受験対策となります。
- ・夏期講習・冬期講習は 5 教科の講習を受講し、総合的に学力を高めます。
- ・中 3 は、受験対策を万全にするために、「特進コース」のみ開講します。

個別指導 コース デュナミス

中1・中2・中3

講師 1 人に生徒 3 人までの個別指導を行います。

「生徒が問題を解いている間に、他の生徒に説明」を行う指導方法です。

自学自習の姿勢を育成することを目標としています。

教科別の担任制です。ICT を活用します。ICT は家庭学習でも使えます。

学 費 の ご 案 内

高校部本科

1. 入塾金 ¥ 10,000 (税別)

下記に該当する方は、全額免除します。

- | | |
|--------------|-----|
| ①兄弟姉妹が在籍・卒塾生 | ¥ 0 |
| ②休塾生（本人が本塾生） | ¥ 0 |

入塾申込と同時もしくは、第1回受講日までに窓口にてご納入ください。

2. 諸経費 次頁参照

毎月授業料と共にご納入いただきます。

(高3の8・1・2・3月と、高2・1の8月は除く。)

プリント代・冷暖房・通信費等含みます。

3. 授業料 次頁参照

分納・・・毎月、ご納入いただきます。

(高3の8・1・2・3月と、高2・1の8月は除く。)

★分納とは、各学期授業料を4回（または3回）に分けてお支払頂くもので月謝制ではありません。

4. テキスト代

6月・10月・2月に、ご納入いただきます。

5. 春期・夏期・冬期講習

4月・8月・1月に、ご納入いただきます。

6. 河合塾全統模試など

申込月の次月に、口座振替にてご納入いただきます。

7. 納入について

上記 1

窓口にて納入

上記 2 ~ 6

口座振替にて納入

☆各該当月の10日に、口座より自動引落させていただきます。

☆口座振替の手続きが完了するまでは、窓口または振込にて、ご納入いただきます。

★ご納入いただいた学費は原則として、返金できませんのでご了承ください。

授業料・諸経費

高校部本科 (税別)

高 3

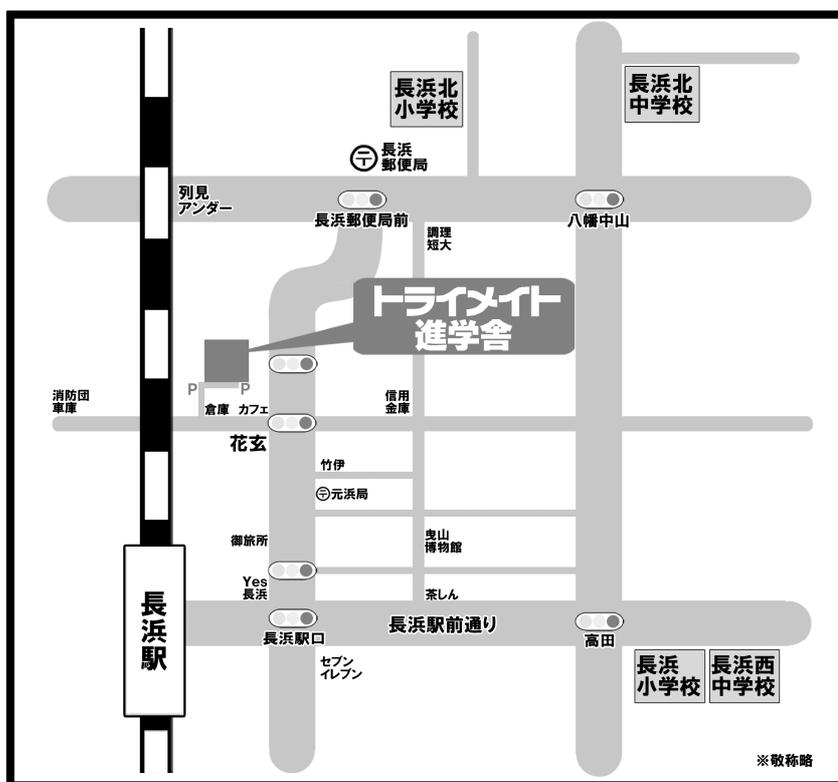
受講	分納	国語を含む場合
1単位	11,000	13,500
2単位	20,000	22,500
3単位	28,000	30,000
4単位	34,000	36,000
5単位	39,000	41,000
6単位	43,000	44,000

- ★ 国語は変則回数になります。国語を含む受講の場合は右側の料金になります。
- ★ 上記の授業料の他に 諸経費 2,000 円を併せてご納入ください。
- ★ 分納とは、各学期授業料を4回に分けてお支払頂くもので月謝制ではありません。したがって、各月の授業回数と授業料は連動していませんのでご理解ください。

高1・高2 (税別)

受講	分納	
	H・Sクラス	Gクラス
英語・数学	25,000	16,000
英語	15,000	10,000
数学	15,000	10,000

- 上記の授業料の他に 諸経費 2,000 円を併せてご納入ください。
- ★ 分納とは、各学期授業料を4回(3学期は3回)に分けてお支払頂くもので月謝制ではありません。したがって、各月の授業回数と授業料は連動していませんのでご理解ください。



トライメイト進学舎

(株)トライメイト

〒526-0024 長浜市三ツ矢元町 3-8

TEL(0749)62-2600

FAX(0749)62-6700

<http://trymate.jp>